

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センター虹		公表日 令和7年2月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5	0	・視覚支援で実際使用した実物をお見せすることもある。	・一式セットで用意しておく必要がある。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	訪問の前にアセスメントを行い目標の設定をしている。振り返りについては担当職員と管理者で行っている。	・一堂に会しての振り返りは難しいことが多いので、ケース担当のキーパーソンの役割意識が重要となる
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・訪問後のミーティング、報告は必ず行い意向を丁寧に把握している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・児童発達支援センターは、外部による第三者評価を実施している。	・訪問に関しての外部評価は、未実施。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・外部の研修参加のための補助、勤務の調整等行っている。	
適切な 支援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	こどもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、計画作成している。	こどもの最善の利益を考慮しているが、保護者の意向を優先していることもある。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0	保育園の職員と話し合った内容や支援方法も盛り込んで作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	定期的にケース会議を行い、様々な意見を基に計画的に支援をしている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	定期的にケース会議を行い、様々な意見を基に計画的に支援をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	訪問前に必ず打ち合わせを行っている。当事業所の利用児に関しては、訪問前に現在の状況確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	訪問後に内容を確認している。また今後の対応についても話をしている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	訪問後の説明の際に、ご家族の意向を確認している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	保育園を通じて関係機関との会議を行う際は担当者が同席する方針とした。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	保育園や関係機関等と連携して支援を行っている。	医療については、事業所側ではなく、ご家族から伝えられることが多い。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	担当者会議等に参加している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0	外部の研修に参加しやすいように勤務を考慮している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	4	八戸市発達障がい児支援検討会議に参加している。	自立支援協議会には出席していない。参加者向けに市役所が案内を送付しているの、いつ行っているか分からない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	19と同じで訪問後の説明や来所時に確認している。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	1年に3回ペアレントトレーニングを実施している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧に説明をしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		今後ニーズに応じた対応を検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談があった場合は対応できるよう時間の調整を行う。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎月広報誌を発行している。	HPへの掲載やSNS等の活用は出来ていないため、今後検討。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報使用の同意書の範囲内で使用している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		定期的に面談し、内容の報告や意思の確認を行っているが、今後は必要に応じて面談の対応をしていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	一律な助言や支援ではなく、訪問先の状況に応じて対応を行うようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	法人内の独自のマニュアルを活用している。児童発達支援センターで訓練は行っている。	訪問支援に限定したマニュアルはない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	児童発達支援センターで作成、周知している。	訪問支援に限定した計画はない。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	2	児童発達支援センターで作成、周知している。	訪問支援でのヒヤリハット事例がない。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	法人の委員会や研修1回、事業所でも研修を行うこととしている。	訪問支援に限定したものは無い。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	児童発達支援センターでは対象の児童に対して行っている。	訪問支援に対象者がいない。